

■地域の団体(組織)

○行政区(町内会)

一定の地域に住む(地縁)住民による地域自治組織で、町広報の配付や行政情報の伝達など行政の補完的な役割と地域の交流や親睦など自主的な活動をしています。歴史的に行政区の呼び名で定着しており、現在58の行政区があります。行政上は行政区ですが、「町内会」と称している行政区もあります。



まちづくりトーク21  
毎年各地区を巡回して開催  
地域で抱える課題などが話し合われる

○振興会

公民館分館の区域とほぼ同じ区域に振興会があります。振興会は地域の自主的な団体で、活動の目的は、地域の活性化や振興、生活文化の向上などになっており、地域の発展を推進する団体です。現在、市街地振興会、西部振興会、第一地区振興協議会、キトウシ地区振興会、第三地区振興会の5つの団体が活動しています。

○公民館分館

社会教育法を根拠として、「東川町公民館条例」が定められ、公民館分館の設置が規定されています。公民館分館は教育行政の組織で、その役割は、スポーツ、レクリエーション、講習会などを通じて健康増進や教養の向上を図る生涯学習の推進を担っています。現在、主に小学校区を単位として中央分館、西部分館、第一分館、第二分館、第三分館、第四分館の6分館が設置されています。なお、第四分館は、本年4月から第二分館へ統合を予定しています。



町民運動会  
連帯のきずなは参加や交流から

地域の課題

連帯意識の希薄化

地域では老若男女がさまざまな仕事や活動をしながらか生活しています。そして、その生活のスタイルや一人ひとりの価値観はそれぞれ異なり、ますます多様になってきました。お互いの個性は尊重しなければなりません。極端な個人主義

農業者以外の人が徐々に増えて純農村社会から混住化の傾向が強くなってきました。

このことは、それぞれの地域の特性に合わせた地域コミュニティや地域づくりが求められることとなります。

におちいると地域の連帯感にも影響します。

地域活動の魅力

コミュニティの員としての自覚はあっても、個人の満足感を満たす新鮮で魅力的な地域活動が行われていないの思いから無関心になることがあるかも知れません。

しかし、地域の活動を生き生きとさせるのは、そこに住む人たちの意欲と責任です。役員や特定の人への「おまかせ」から、協力へ、そして、一人ひとりの力を結集してより良い地域社会をつくるための努力が必要です。